

見出し： パーソナル AI による覚醒

本文：

約 4 万年前にネアンデルタール人は滅亡し、現生人類は生き延びました。両者とも、ほぼ同じような地域に住んでいました。約 4 万年前に、いったい何が起きたのでしょうか。このころ一段と寒冷化が進みました。現生人類は、ネアンデルタール人よりも社会集団の規模がわずかに大きかったと言われていました。そのためこうした過酷な条件下で生き延びたのかもしれませんが。集団が大きくなると、集団的知性の働きで、生き延びる知恵や技術が進歩し、集団の生存力を高めると考えられています。

ルネサンスの時代は、印刷機の再発明により、製本が広く普及し「集団的知性」の働きが高まり文明が進歩しました。現代は、インターネットとスマホ等の普及で「集団的知性」の働きが加速度的に高まっています。スマホを持っていれば百科事典を持っているようなものですから。莫大なデータが入手できるようになった一方、そのデータから有用な情報を得るための人間の情報処理能力は限界を迎えています。膨大なデータを処理して有益な情報を得るには何か道具が必要です。

膨大な将棋のデータを、パーソナル AI（個人用の AI）を用いて処理し活躍している棋士がいます。藤井聡太 2 冠です。彼は 18 歳 1 ヶ月という若さで、棋聖・王位の 2 冠を獲得しました。パーソナル AI により覚醒した天才だと思います。AI はいろいろな分野で応用されています。これから各分野でパーソナル AI による天才の覚醒が起きると予想しています。

本学は、「パーソナル AI の使い方を身につける講義」と「覚醒を促す AI コンテスト」を準備し、皆さんが入学して覚醒するのを期待しています。